



5月、ゴールデンウィーク。 WITHコロナのこれから。

■改めて痛感する

現場主義の大切さ

新年度が始まり、少しずつ再開されている市内行事や地域活動に参加しています。



地域で開催されているサロンには、多くの皆さんの地域に対する想いやおもてなしの心が詰め込まれていました。このような機会を奪ってしまった新型コロナウイルス感染症、そしてなかなか終わりが見えない感染症対策の現状

に改めて悔しい気持ちとなりました。



私は自治会活動やまちづくり協議会の活動を支援することで、地域の繋がりや“自分たちの地域を自分たちで住み良くできる”環境を整えていきたいと考えています。コロナの影響により、地域の活動が行われなかったことで自治会加入やその在り方について多くの意見が聞こえてきています。これまで、慣例や風習という言葉で済まされてきたことが通用しなくなっています。

一つ一つのことを見直し、自治会や地域は何のために存在するのか、今一度、市民の皆さんと意見を交わし考えていきます。是非、多くの皆さんのご意見も聞かせてください。私は、時代にあった方法を取り入れながら、隣近所の人が挨拶や会話を交わし、困った時には助け合えるような地域の繋がりを大切にしていきたいと考えています。

■総合教育会議

総合教育会議とは、市長が招集することができる市長と教育委員会の委員で構成される会議です。昨年は開催されていなかった会議でしたが、早速新年度を迎え開催しました。教育に関する重要事項を決定する教育委員会の委員の皆さまと情報や考え方を共有する大切な会ですが、開催頻度は自治体によりまちまち。美濃加茂市では3ヶ月に1度の頻度で開催したいと考えています。



私は“教育は国家百年の計”と言われる通り、何よりも大切にしなければならない政策であると考えています。私たち大人が子どもたちに、学校や教育行政、そして政策全般を通して次の世代に何を伝えるべきなのか。このことを絶えず考え続け時代に合わせて変えるべきことを変えなければなりません。

現在の美濃加茂市では、教育のデジタル化への対応をはじめ不登校児童生徒の増加やヤングケアラー、コミュニティスクール、土日の部活動など、多くの課題が山積。学校の先生の負担が増加する中で、今まで通りの対応では解決できない現実があります。教育の大切さを改めて市民の皆さんと共有し、一つ一つ課題に対応し、全ての子どもたちの可能性を引き出すことのできる美濃加茂市を創ります。

■新型コロナウイルス

感染症対策

新型コロナウイルス感染症が広がって3年目のゴールデンウィーク。現在は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は出されていません。しかしながら、美濃加茂市の人口に占める感染者

数の割合は非常に高く、4/18～4/24の一週間では人口10万人あたりの感染者数が405.72人で県内市町村で2番目でした。特に40代以下の割合が高い傾向にあります。感染予防対策と同時に、社会活動の再開、継続にも力を入れていかなければなりません。感染症に対する価値観は、同じ美濃加茂市の中でも人それぞれ置かれている生活環境などによって大きく異なっていると感じます。行政やマスコミに正解を求めるのではなく、一人ひとりが必要な情報を収集し、絶えず考え、行動に移していくことが大切なのではないでしょうか。

■美濃加茂市公式チャンネル ＜美濃加茂市長tv＞

これまで、個人の政治活動として毎週YouTubeを配信してきました。こちらの番組は、これからも継続しますが、美濃加茂市役所が配信している美濃加茂市公式YouTubeチャンネルに新たに＜美濃加茂市長tv＞が始まりました。

1ヶ月に2回ほどの配信を予定しています。第1回目は、6月から始まる新規採用試験を紹介しました。美濃加茂市の課題や市民の皆さんからいただ



いたご意見をもとに毎回企画を考えて配信していこうと思っています。

現在、美濃加茂市の広報は、防災無線やラジオ、紙の広報にSNSなど多くの手段を利用しています。若い世代を中心に日々、情報収集の方法も変わっています。特に迅速な情報発信が必要とされる災害時。誰にどの情報をどのように届けるのか、“市民の皆さんに必要な情報を必要な時に届け、市役所の存在を身近に感じてもらうため”には、どのような方法が最適であるのかしっかりと計画を立てて行わなければならないと考えています。

また、現在は一方的な情報発信だけではなく、市民の皆さんからの情報やデータを適切に収集する仕組みづくりが必要です。市民の皆さんの声を市政に反映しながら、市政運営を理解いただけるよう広報活動を強化していきます。

藤井浩人